



芦安中学校だより

第7号

校長 石原敬彦

2019 11.25

芦安文化祭を開催しました。多くの皆様のご来場、ありがとうございました。

11月16日(土)、芦安小中学校が小中一貫校となって最初の「芦安文化祭」を開催しました。今年は、地域の皆様による展示がさらに充実し、また地域の有志の皆様によるハンド演奏がプログラムに加わりました。来場して下さる地域の皆様の数も昨年度より増え、「地域の文化祭」としても確かな前進ができたと思っています。埴原美枝子先生、宗学史先生のお二方には、今年も熱心なご指導をいただきました。感謝申し上げます。小学生の発表に対する中学生の温かいまなざしや誠実でやさしい態度に小中一貫教育の良さと本校生徒の素晴らしさを楽しみ感じ、本当に心温まる思いでした。高学年のダンスに合わせて体を動かしていた姿も印象的でした。小中一貫教育の良さを今後も真摯に探りながら、日々の教育活動に取り組んでまいります。お忙しい中ご来場くださいました来賓の皆様をはじめ、地域の皆様、保護者の皆様に改めて感謝を申し上げます。



アカペラによる3部合唱「結」を披露した3年生。真剣な練習の積み重ねが美しいハーモニーとなって結実しました。名実ともに芦安中の大黒柱です。



デビッド先生の指揮で "Hello Good-Bye"



1年生 3部合唱による「奏かなで」



2年生 3部合唱による「パプリカ」



全校による英語の歌「yesterday once more」 全校による3部合唱 「証 あかし」



合唱指導をしてくださった埴原美枝子先生

芦安文化祭・和太鼓では、記念すべき初めての小中合同演奏が実現しました。

4月に正式に小中一貫校となったことも強力な「追い風」でした。中学生が取り組んで来た「夜叉神太鼓」に小学生も参加させてあげたいという願いが、ついに今年実現しました。長い間、継続して中学生を指導して来てくださった宗先生も、私たちの要請を快諾してくださり、新曲「芦安賛打」を書き下ろしていただきました。本当にありがとうございます。小中合同の練習が始まったのは7月4日、それ以降、合計8回の合同練習を行いました。伝統の夜叉神太鼓が、これからもさらに小中が一体となって発展し、地域とも結びついてゆくことを目指していきます。



小学生高学年と中学生による新曲「芦安賛打」の演奏。また一つ、新しい芦安小中の伝統が生まれようとしています。



心を解き放って一心に太鼓を打つ姿が観衆を魅了します。



卓越した教育理念の宗学史先生。一人ひとりを大切にしてくださいませ。

10月30日、5名の留学生を招いて恒例のハロウィンパーティーを行いました。

今年も山梨大学の協力の下、5名の海外からの留学生を招待して小中合同でハロウィンパーティーを行いました。大切な恒例行事となっています。



小中合同で歓迎の英語の歌を歌いました。



英語での小中学校紹介に続いてゲームを行いました。



全員で記念撮影